



参考資料1

神奈川県の精神保健医療の現状

令和4年11月25日更新

「目次」

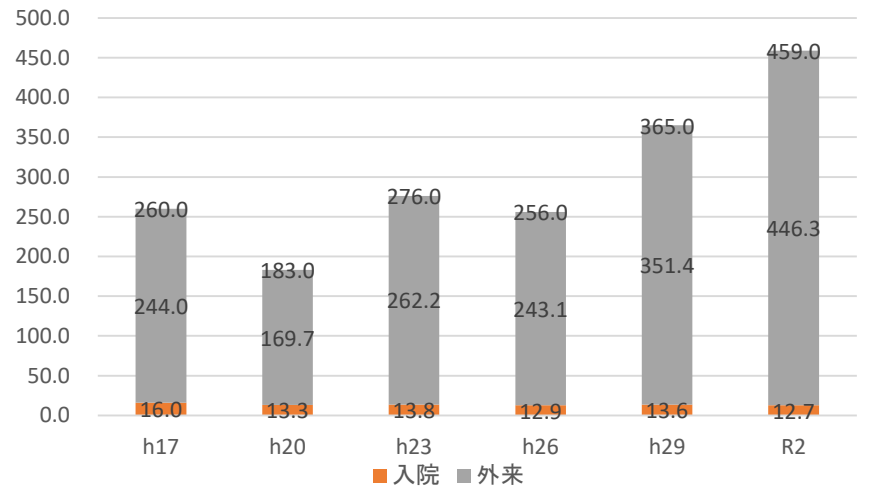
- 1 精神疾患を有する患者の状況
- 2 精神病床の推移
- 3 入院形態別の状況
- 4 在院日数・退院率
- 5 今後の検討

1 精神疾患を有する患者の状況

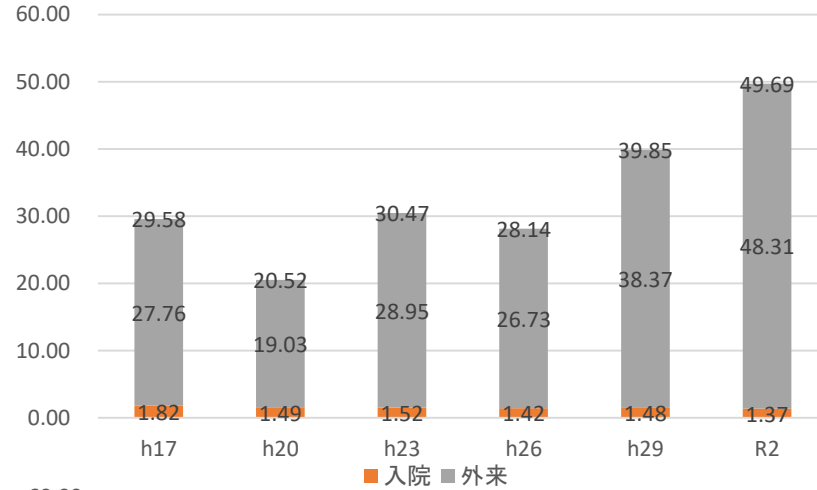
(1) 精神疾患を有する総患者数の推移

神奈川県

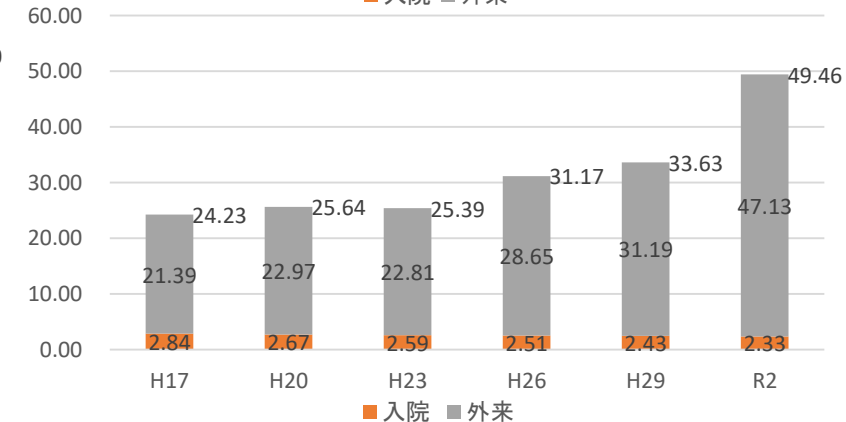
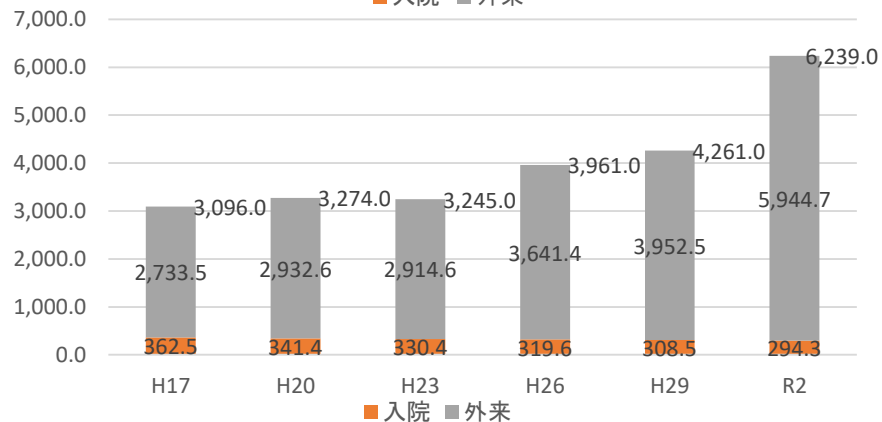
総患者数(単位:千人)



人口千人当たり総患者数(単位:人)



全国



状況

- 神奈川県は、入院患者数は減少（H20からはほぼ横ばい）、外来患者数は増加傾向にある。
- 全国は、入院患者数は減少、外来患者数は増加傾向にある。
- 人口千人当たりの患者数は令和2年でみると、神奈川県は全国と比較し、入院は0.96人少なく、外来は1.18人多い。

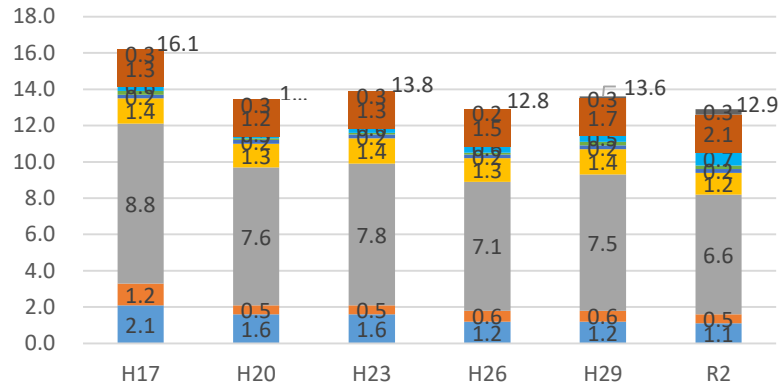
入院	神奈川県	1.37人
	全国	2.33人
外来	神奈川県	48.31人
	全国	47.13人

1 精神疾患を有する患者の状況

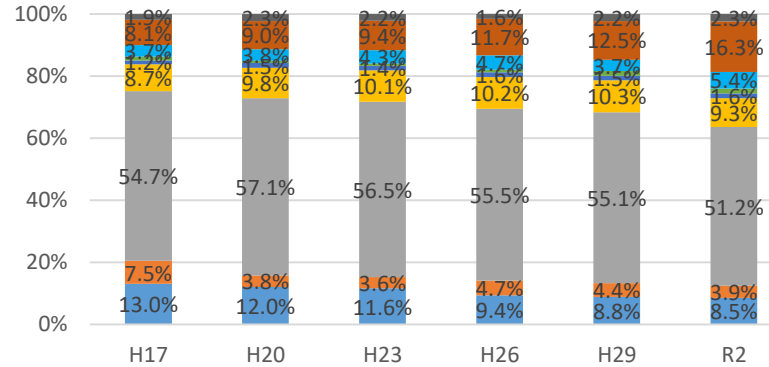
(2-1) 精神疾患を有する入院患者数の推移 (疾患別)

神奈川県

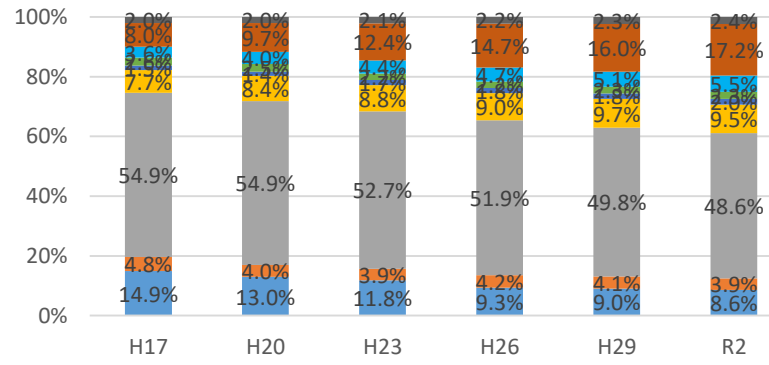
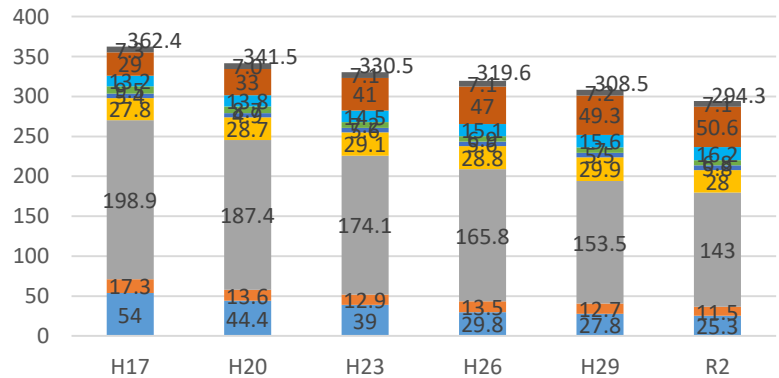
患者数(単位:千人)



構成比(単位:%)



全国



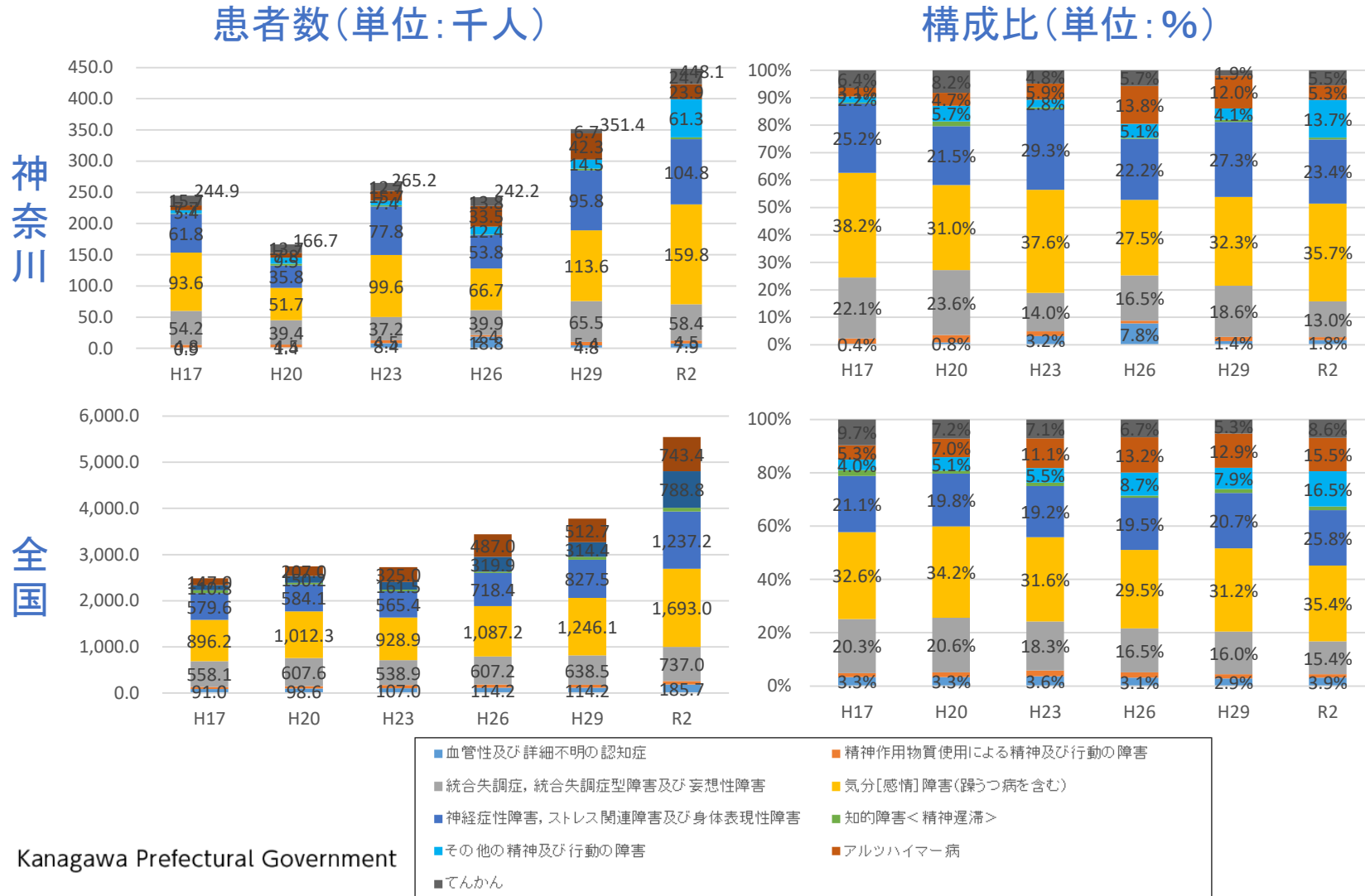
- 血管性及び詳細不明の認知症
- 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害
- 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害
- その他の精神及び行動の障害
- てんかん
- 精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 気分[感情]障害(躁うつ病を含む)
- 知的障害<精神遅滞>
- アルツハイマー病

状況

- ・神奈川県及び全国共に入院患者は減少傾向にある。(神奈川県はh20からほぼ横ばい)
- ・構成比で見ると、神奈川県及び全国ともに、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が約半数を占める。
- ・「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」全国で減少し50%を下回っている一方で、神奈川県は減少傾向ではあるものの、なお50%を超える状況にある。
- ・神奈川県及び全国ともに、「血管性及び詳細不明の認知症」が減少、「アルツハイマー病」が増加傾向にある。

1 精神疾患を有する患者の状況

(2-2) 精神疾患を有する外来患者数の推移（疾患別）



状況

- 全国及び神奈川県共に外来患者数が増加傾向にある。
- 疾患別にみると「気分（感情）障害」の患者数が一番多い。
- 本県は全国と比較して、「気分（感情）障害」の割合が多く、「血管性及び詳細不明の認知症」「その他の精神及び行動の障害」の割合が少ない。

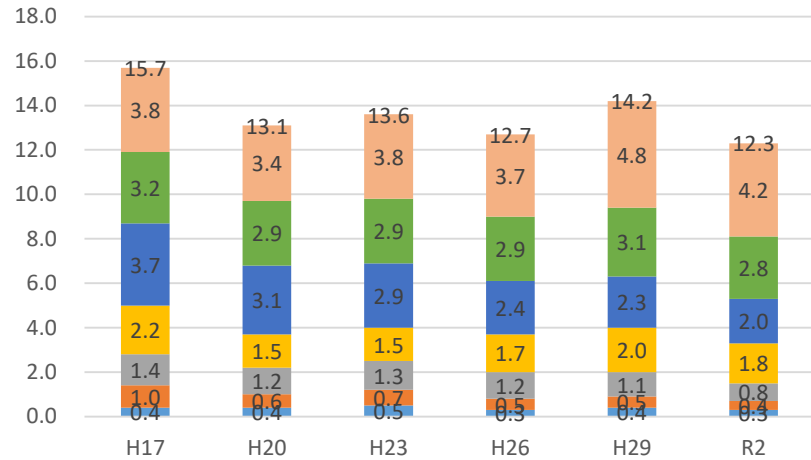
※外来患者数＝総患者数－推計入院患者数

1 精神疾患を有する患者の状況

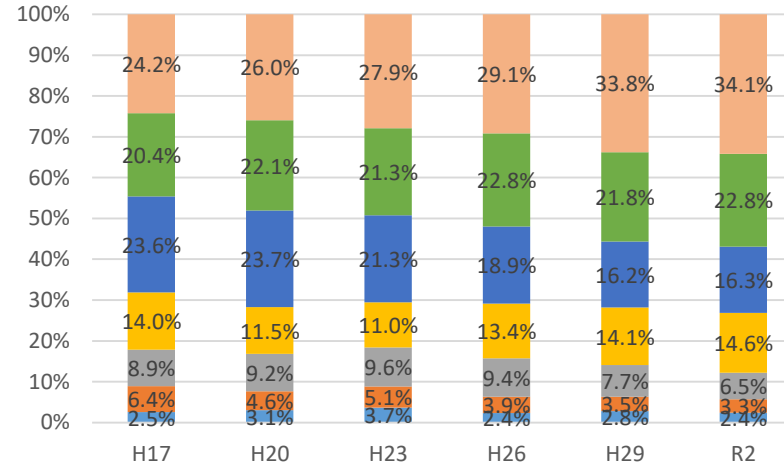
(3-1) 精神病床における入院患者数の推移 (年齢階級別)

神奈川県

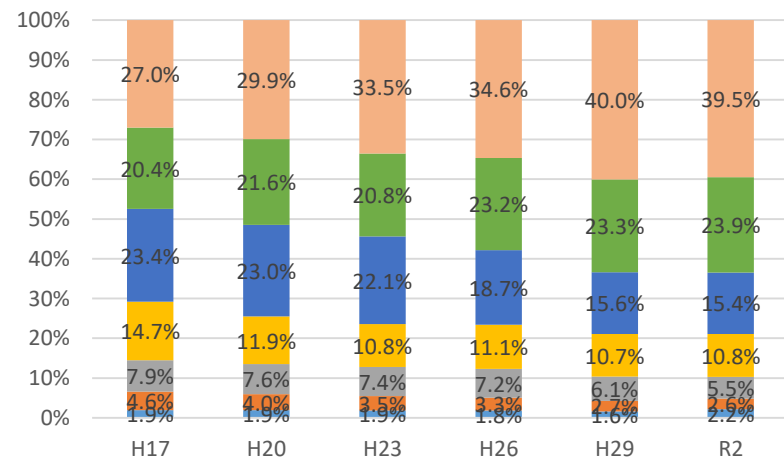
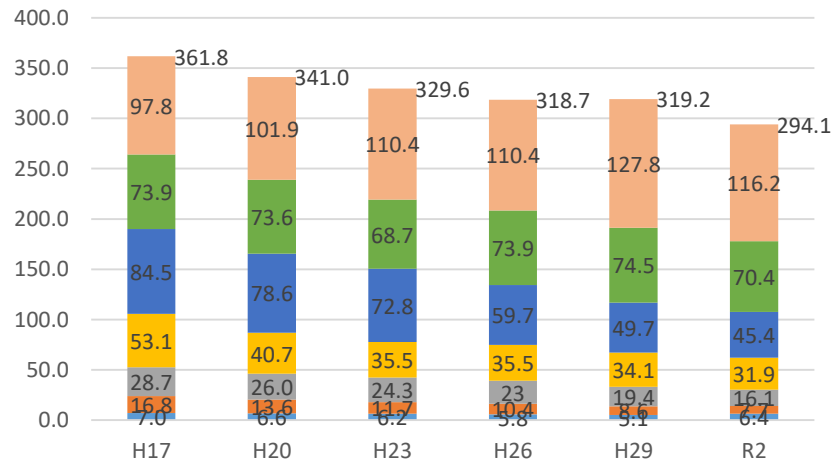
患者数(単位:千人)



構成比(単位:%)



全国



状況

- 構成比で見ると、神奈川県及び全国ともに、高齢層（特に75歳以上）が増加傾向にある。
- 神奈川県は全国と比較し、25歳から54歳の占める割合が高い。
(R2) 神奈川 24.4%
全国 18.9%

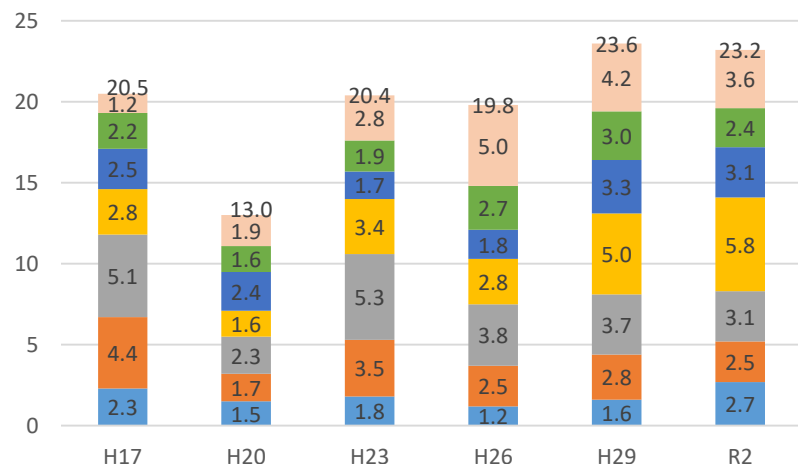
【推計患者数ベース】

1 精神疾患を有する患者の状況

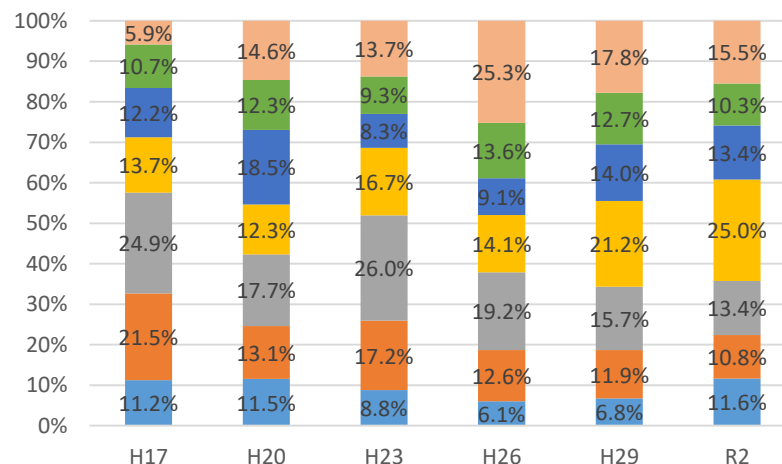
(3-2) 精神疾患を有する外来患者数の推移（年齢階級別）

神奈川県

患者数(単位:千人)



構成比(単位:%)

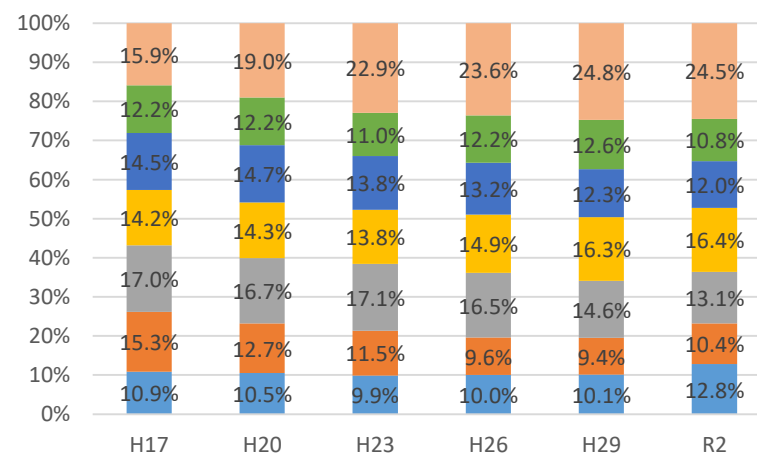
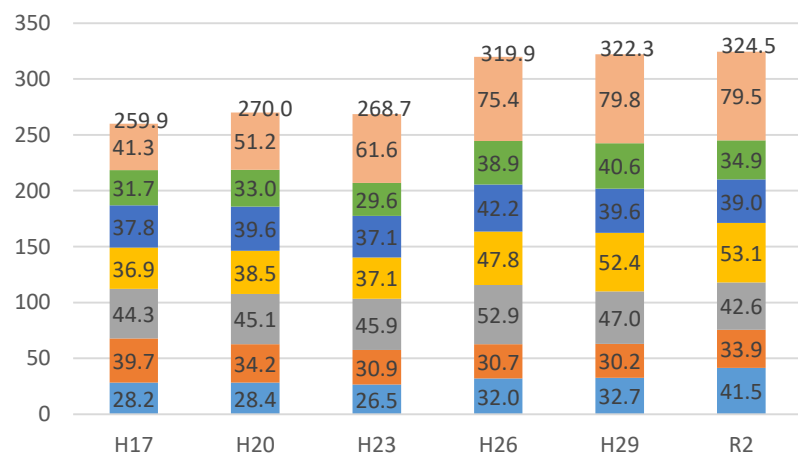


状況

・構成比で見ると、全国は若年層（0-44歳）が減少傾向にあるのに対し、神奈川県ではH26以降増加しており、減少していない。

・神奈川県は全国と比較し、25歳から54歳の占める割合が高い
 (R2) 神奈川 49.2%
 全国 39.9%

全国



【推計患者数ベース】



1 精神疾患を有する患者の状況

項目	患者の状況
入院患者数	神奈川県及び全国ともに減少（※神奈川県ではH20からはほぼ横ばい）
外来患者数	神奈川県及び全国ともに増加傾向
人口千人当たり患者数 （令和2年）	神奈川県は全国と比較し、入院は0.96人少なく、外来は1.18人多い
疾患別構成比 （入院患者）	神奈川県及び全国ともに、「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」が約半数を占める 「統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」は、全国で減少し50%を下回っている一方で、神奈川県は減少傾向ではあるものの、なお50%を超える状況にある 「血管性及び詳細不明の認知症」が減少、「アルツハイマー病」が増加傾向
疾患別構成比 （外来患者）	全国及び神奈川県共に外来患者数が増加傾向にある 疾患別にみると「気分（感情）障害」の患者数が一番多い 本県は全国と比較して、「気分（感情）障害」の割合が多く、「血管性及び詳細不明の認知症」「その他の精神及び行動の障害」の割合が少ない
年齢階級別構成比 （入院患者）	神奈川県及び全国ともに、高齢層（特に75歳以上）が増加傾向 神奈川県は全国と比較し、25歳から54歳の占める割合が高い
年齢階級構成比 （外来患者）	全国は若年層（0-44歳）が減少傾向になっているのに対し、神奈川県ではH26以降増加しており、減少していない。 神奈川県は全国と比較し、25歳から54歳の占める割合が高い

2 精神病床の推移

○本県の精神科病床の現状

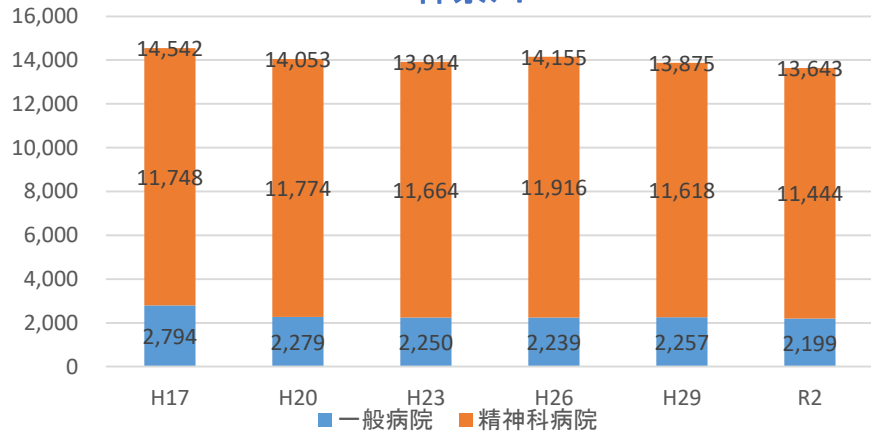
区 域	基準病床数 A	既存病床数 B (令和4年4月1日現在)	差 引 (B-A)
全 県	10,992	13,646	2,654



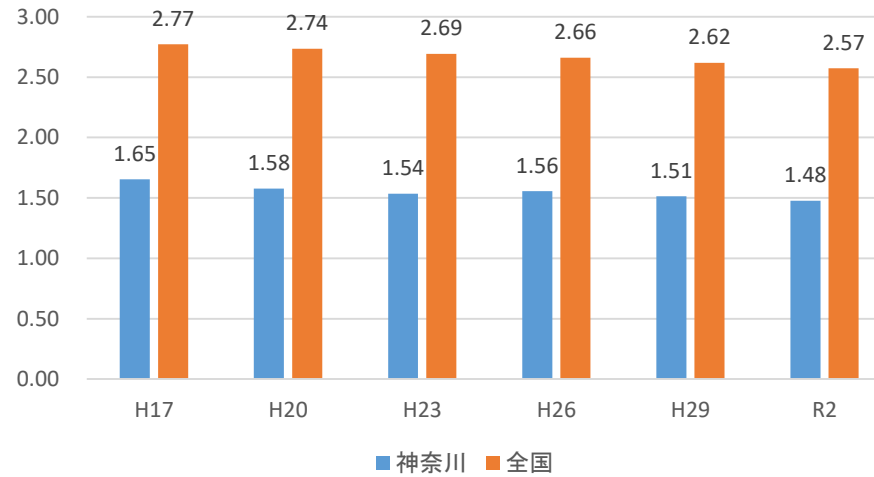
基準病床数に対し、既存病床数が過剰な状態

2 精神病床の推移

病床数(単位:床)
神奈川



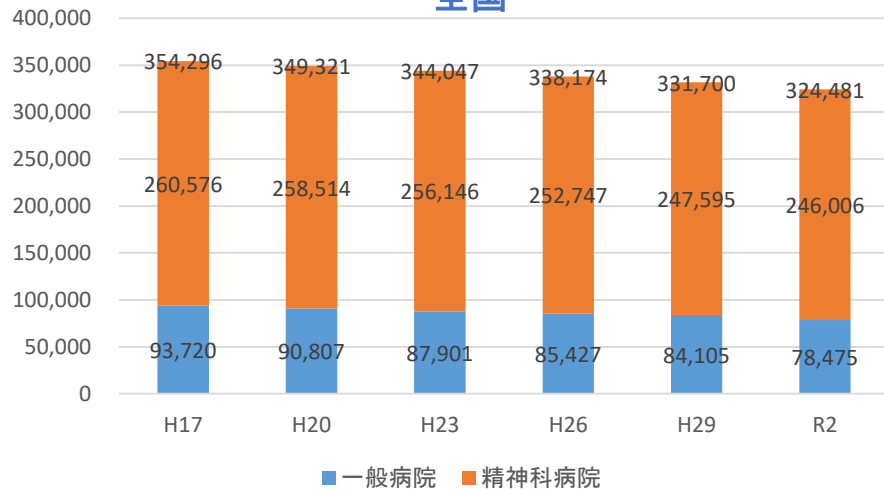
人口千人あたり病床数(単位:床/千人)



状況

- ・神奈川県は、精神病床数は減少（H20からはほぼ横ばい）にある（全国は減少傾向）。
- ・人口千人当たりの病床は令和2年でみると、神奈川県は全国と比較し、1.09床少ない。
- ・精神病床の増減率（R2とH17の比）は、神奈川県は一般病院で78.7%と減少する一方、精神科病院では97.4%とほぼ横ばいである。

全国

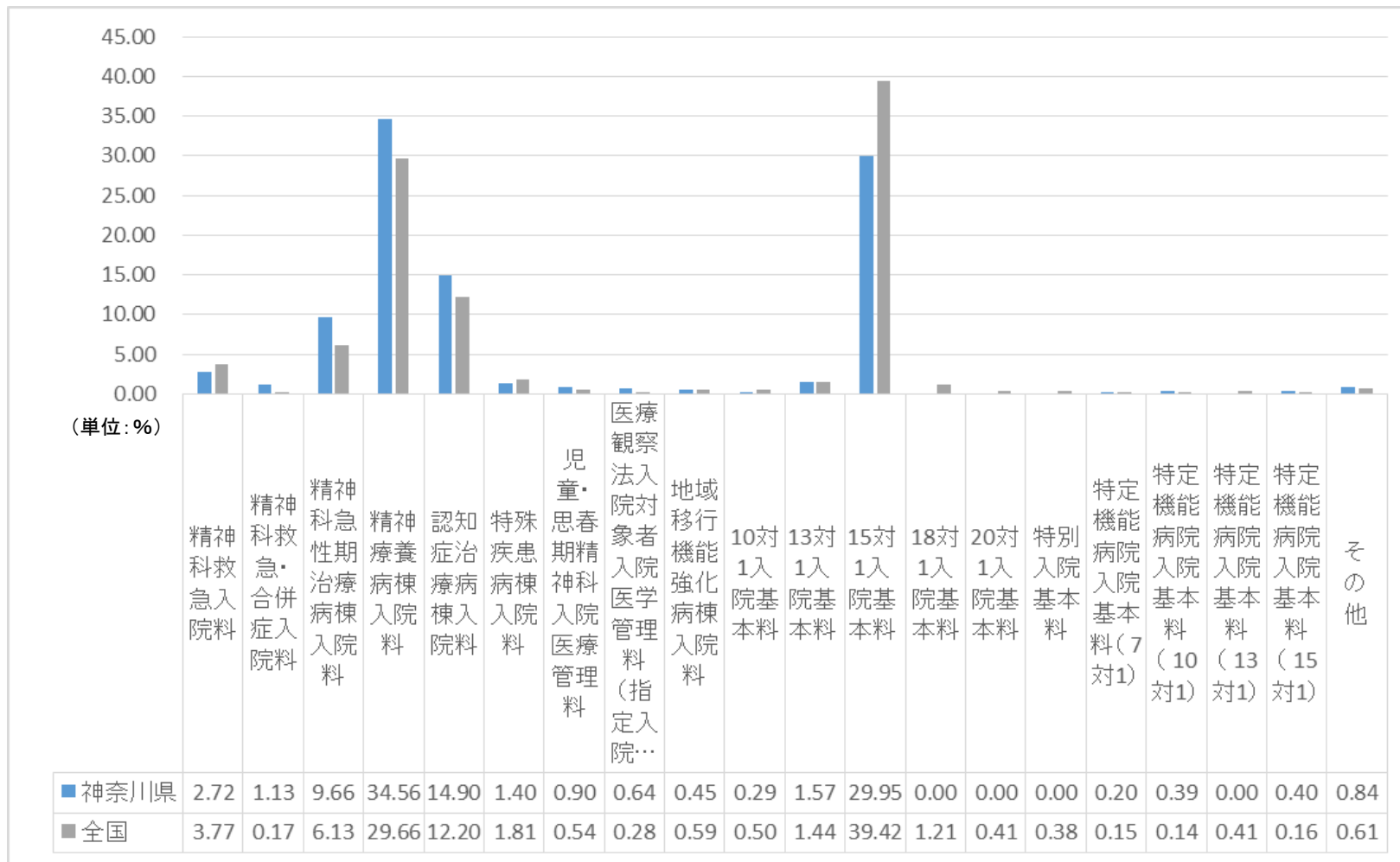


精神病床の増減率(R2/H17)

	一般病院	精神科病院	総数
神奈川	78.7%	97.4%	93.8%
全国	83.7%	94.4%	91.6%

2 精神病床の推移

病床構成比(入院料別)



状況

- ・全国と比較して、精神療養病棟入院料の病床が、4.9ポイント高い。
 神奈川県 34.56%
 全国 29.66%
- ・全国と比較して、15対1入院基本料の病床が、9.47ポイント低い。
 神奈川県 29.95%
 全国 39.42%

2 精神病床の推移

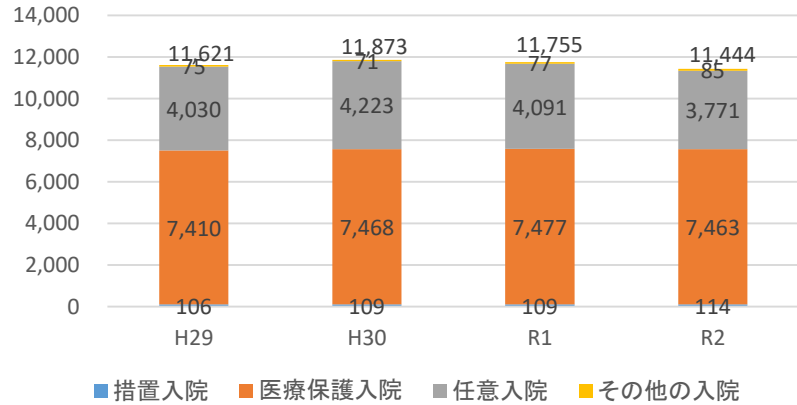
項目	病床の状況
精神病床数	人口千人当たりの病床は、神奈川県は全国と比較し、1.09床少ない（令和2年）
	基準病床数に対し、既存病床数が過剰な状態
	神奈川県は、平成20年からほぼ横ばい 全国は、減少傾向
	精神病床の増減率（令和2年と平成17年の比）は、神奈川県は一般病院で78.7%と減少する一方、精神科病院では97.4%とほぼ横ばい
	全国と比較して、精神療養病棟入院料の病床が、4.9ポイント高い
	全国と比較して、15対1入院基本料の病床が、9.47ポイント低い

3 入院形態別の状況

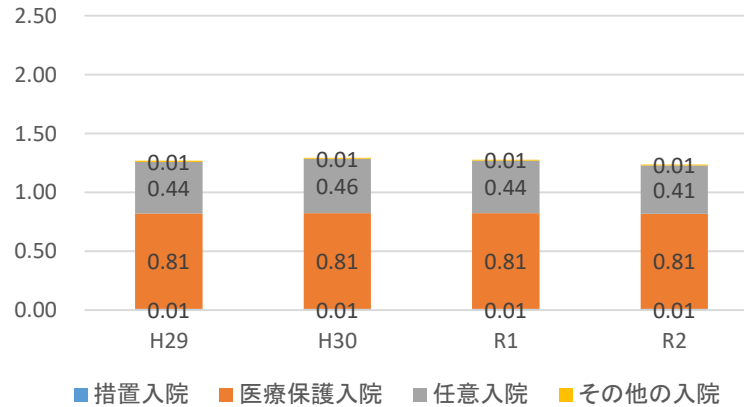
(1) 精神病床における入院患者数の推移 (入院形態別・6/30時点)

神奈川県

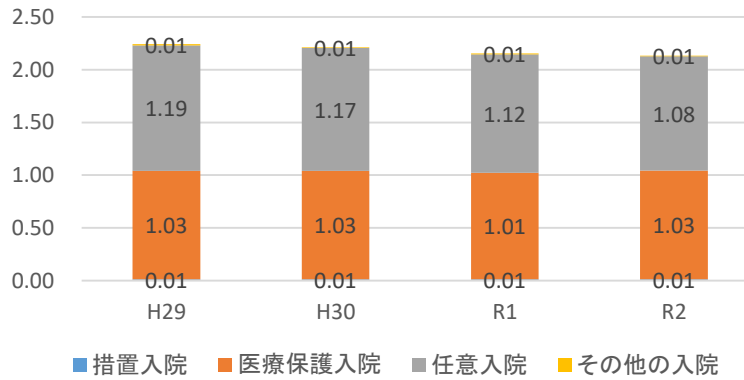
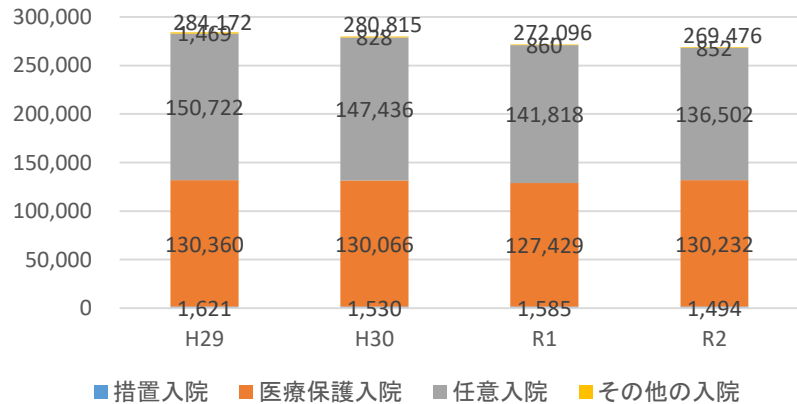
患者数(単位:人)



人口千人当たり患者数(単位:人)



全国



状況

- 措置入院の患者数は、全国で減少傾向にある一方で、神奈川県は横ばい傾向
- 医療保護入院の患者数は、神奈川県及び全国ともに横ばい。
- 人口千人当たりの患者数は令和2年でみると、神奈川県は全国と比較し、措置入院は同程度、医療保護入院は0.22人、任意入院は0.67人少ない。

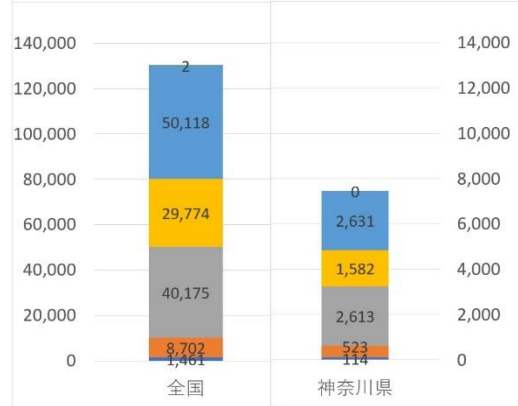
(R2) 措置入院	神奈川県0.01人	全国0.01人
医療保護入院	神奈川県0.81人	全国1.03人
任意入院	神奈川県0.41人	全国1.08人

3 入院形態別の状況

(2) 入院形態別の入院患者数の比較 (全国・神奈川県・年齢階級別・6/30時点)

医療保護入院

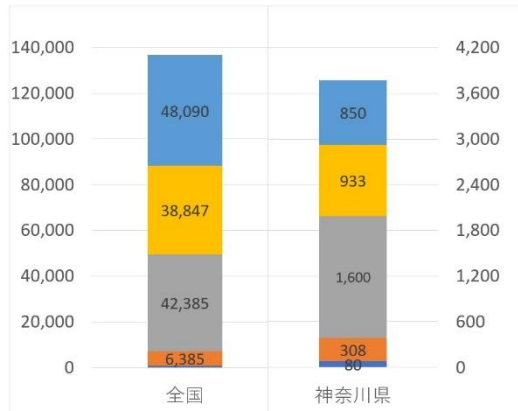
令和2年患者数 (単位:人)



令和2年構成比 (単位:%)



任意入院



■ 20歳未満 ■ 20歳以上 40歳未満 ■ 40歳以上 65歳未満
■ 65歳以上 75歳未満 ■ 75歳以上 ■ 不明

状況

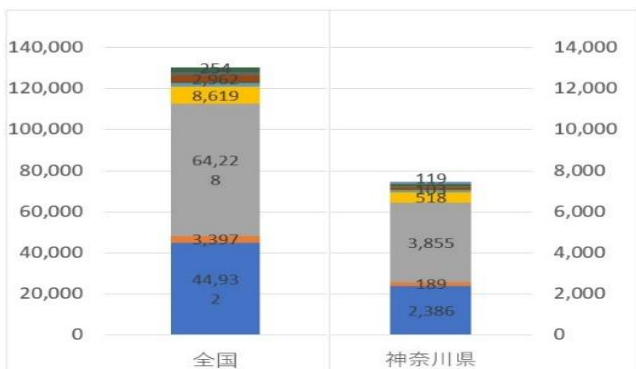
- 医療保護入院の年齢階級別の構成比で見ると、全国と比べて神奈川県では40歳以上65歳未満の割合が高く、75歳以上の割合が少ない。
40歳以上65歳未満
全国 30.8% 神奈川 35.0%
75歳以上
全国 22.9% 神奈川 21.2%
- 任意入院の年齢階級別の構成比で見ると、全国と比べて神奈川県では20歳以上40歳未満及び40歳以上65歳未満の割合が高く、75歳以上の割合が少ない。
20歳以上40歳未満
全国 0.6% 神奈川 2.1%
40歳以上65歳未満
全国 31.1% 神奈川 42.4%
75歳以上
全国 4.7% 神奈川 8.2%

3 入院形態別の状況

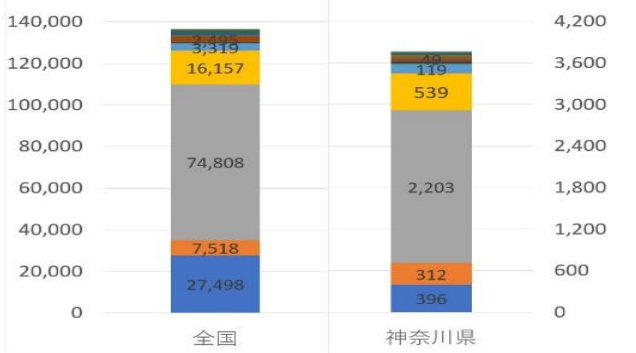
(3) 入院形態別の入院患者数の比較 (全国・神奈川県・主診断別・6/30時点)

医療保護入院

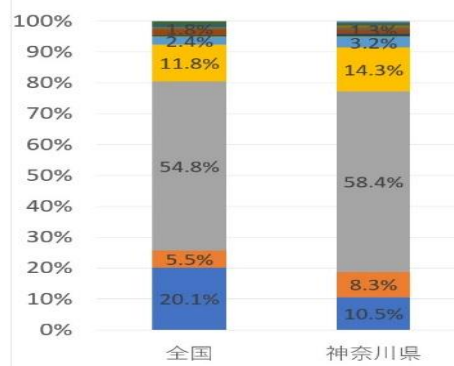
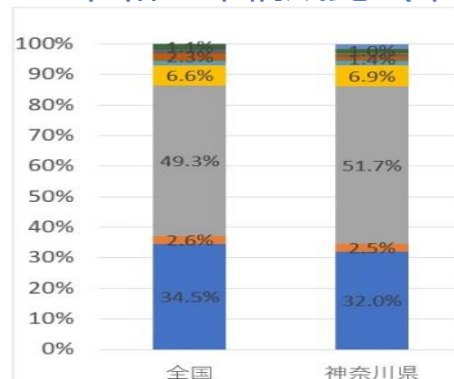
令和2年患者数 (単位:人)



任意入院



令和2年構成比 (単位:%)



状況

- 医療保護入院患者を主診断別の構成比で見ると、全国と神奈川県で大きな違いはないが、神奈川県は、「F0 症状性を含む器質性精神障害」「F7 精神遅滞(知的障害)」が全国より割合が少なく、「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」は全国より割合が高い。
 F0 全国 34.5% 神奈川 32.0%
 F2 全国 49.3% 神奈川 51.7%
 F7 全国 2.3% 神奈川 1.4%
- 任意入院患者を主診断別の構成比で見ると、神奈川県は、「F0 症状性を含む器質性精神障害」は全国の約半数となっており、「F1 精神作用物質による精神及び行動の障害」「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「F3 気分(感情)障害」は全国より割合が高い。
 F0 全国 20.1% 神奈川 10.5%
 F1 全国 5.5% 神奈川 8.3%
 F2 全国 54.8% 神奈川 58.4%
 F3 全国 11.8% 神奈川 14.3%

- F0 症状性を含む器質性精神障害
- F3 気分(感情)障害
- F6 成人のパーソナリティ及び行動の障害
- F9 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害
- 不明

- F1 精神作用物質による精神及び行動の障害
- F4 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- F7 精神遅滞(知的障害)
- てんかん(F0に属さないものを計上する)

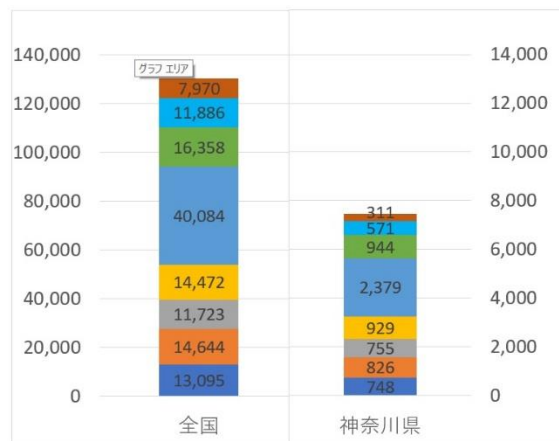
- F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
- F8 心理的発達の障害
- その他

3 入院形態別の状況

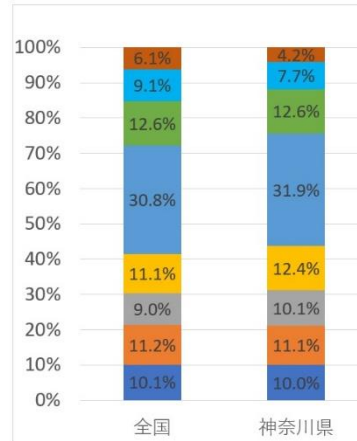
(4) 入院形態別の入院患者数の比較 (全国・神奈川県・在院期間別・6/30時点)

医療保護入院

令和2年患者数 (単位:人)



令和2年構成比 (単位:%)



任意入院



■ 1ヶ月未満 ■ 1ヶ月以上 ■ 3ヶ月以上 ■ 6ヶ月以上 ■ 1年以上 ■ 5年以上 ■ 10年以上 ■ 20年以上 ■ 不明

3ヶ月未満 6ヶ月未満 1年未満 5年未満 10年未満 20年未満

状況

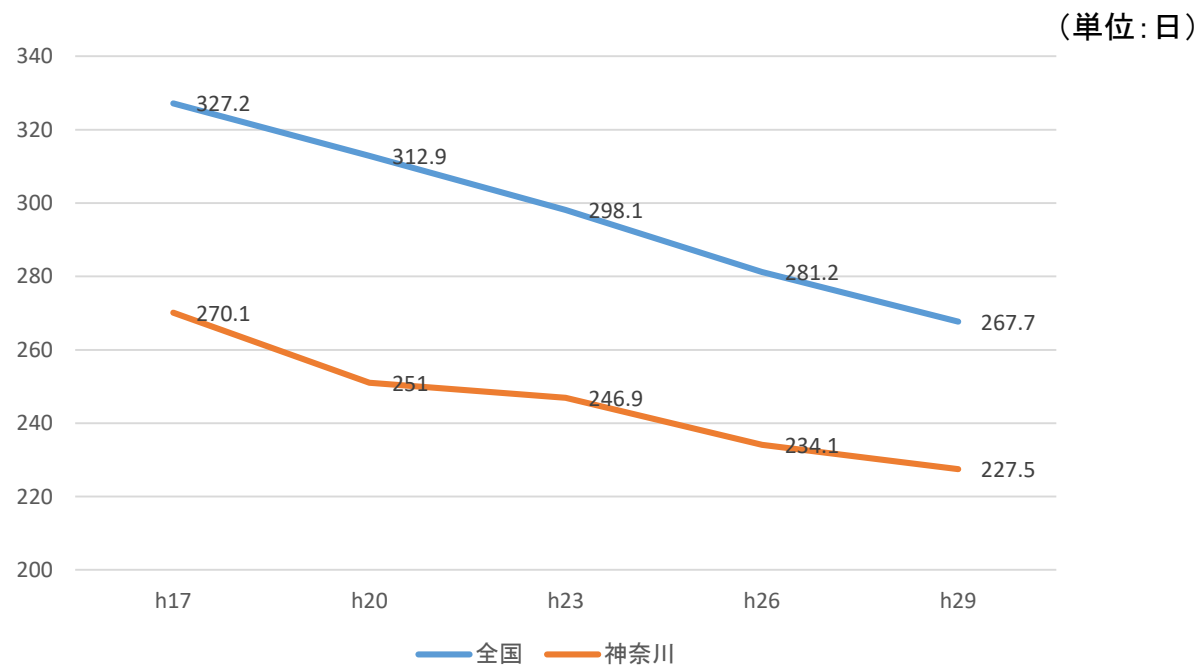
- 構成比で見ると、神奈川県は、全国と比較して医療保護入院、任意入院とも1年未満の入院者の占める割合が高い。
医療保護 全国41.4 : 県43.6
任意 全国34.3 : 県42.3
- 10年以上の長期入院者の占める割合は、医療保護入院、任意入院とも全国より少ない。
医療保護 全国15.2 : 県11.9
任意 全国20.1 : 県14.4

3 入院形態別の状況

項目	患者の状況	
患者数の推移	医療保護入院患者数は、神奈川県及び全国ともに横ばい。	
人口千人当たり患者数 (令和2年)	神奈川県は全国と比較し、措置入院は同程度、医療保護入院は0.22人、任意入院は0.67人少ない。	
年齢階級別構成比	医療保護入院 任意入院	<p>全国と比べて神奈川県では40歳以上65歳未満の割合が高く、75歳以上の割合が少ない。</p> <p>全国と比べて神奈川県では20歳以上40歳未満及び40歳以上65歳未満の割合が高く、75歳以上の割合が少ない。</p>
主診断別構成比	医療保護入院 任意入院	<p>神奈川県は、「F0 症状性を含む器質性精神障害」「F7 精神遅滞（知的障害）」が全国より割合が少なく、「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」は全国より割合が高い。</p> <p>神奈川県は、「F0 症状性を含む器質性精神障害」は全国の約半数となっており、「F1 精神作用物質による精神及び行動の障害」「F2 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害」「F3 気分（感情）障害」は全国より割合が高い。</p>
在院期間別構成比	<p>神奈川県は全国と比較し、医療保護入院及び任意入院ともに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年未満の入院者の占める割合が高い。 ・ 10年以上の長期入院者の占める割合は低い。 	

4 在院日数・退院率

(1) 精神疾患患者の平均在院日数



状況

- 平均在院日数は、神奈川県及び全国ともに減少傾向にある。
- h29で見ると、神奈川県は全国と比較し40.2日短い(全国のh29と神奈川のh17がほぼ同数値)。

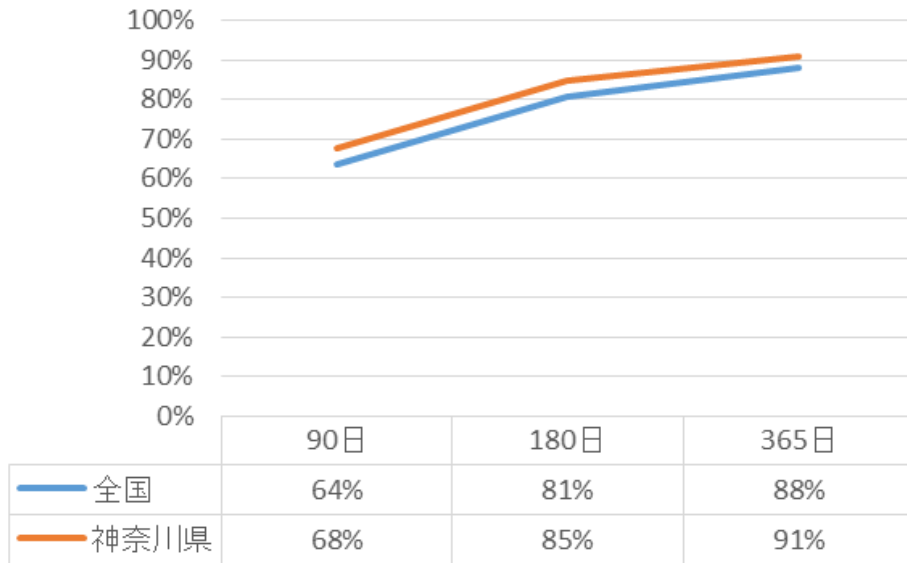
	h17	h20	h23	h26	h29	h17-h29増減率
全国 A	327.2	312.9	298.1	281.2	267.7	81.8%
神奈川県 B	270.1	251	246.9	234.1	227.5	84.2%
差 B-A	-57.1	-61.9	-51.2	-47.1	-40.2	

4 在院日数・退院率

(2) 精神病床における退院率・再入院率

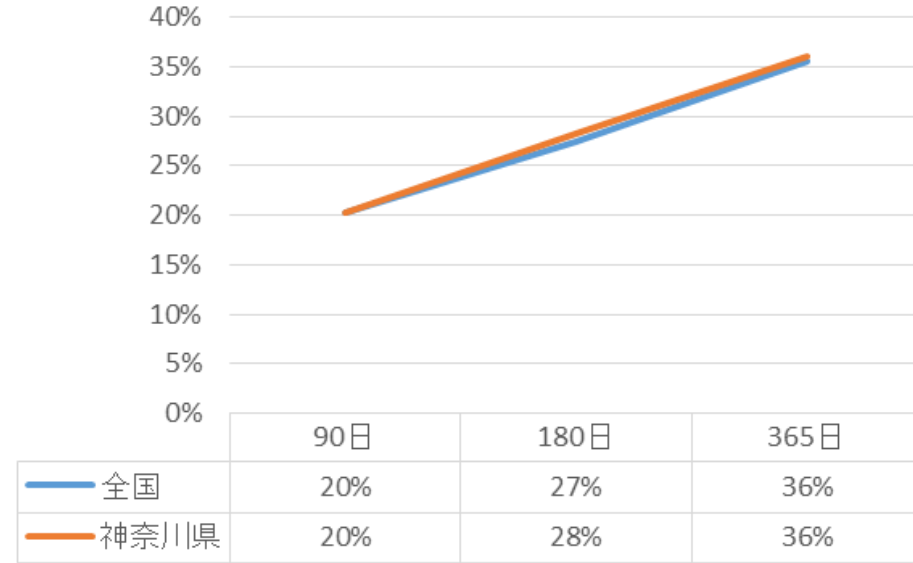
精神病床における入院後の時点における退院率

平成29年



精神病床における退院後の時点における再入院率

平成29年

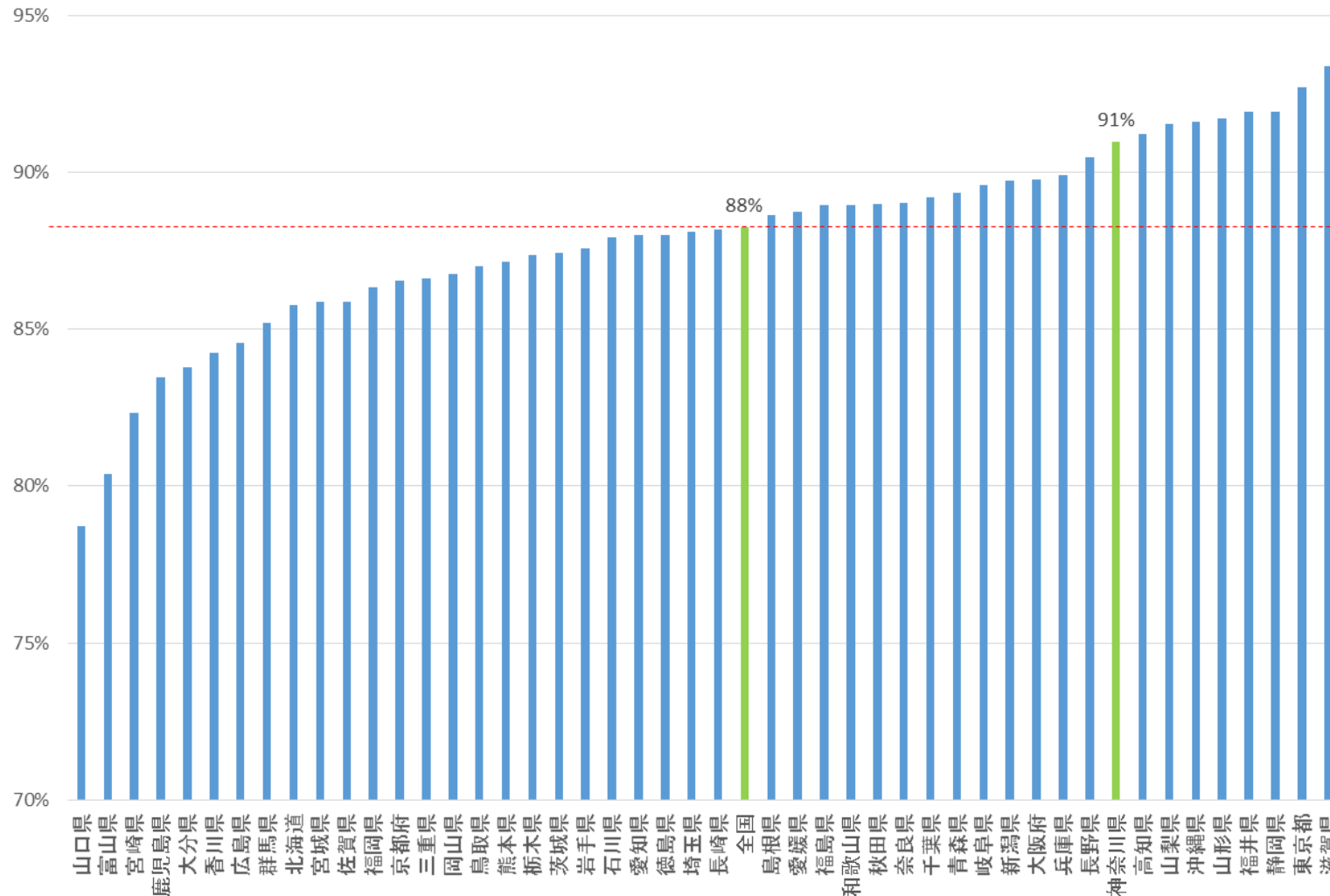


状況

- ・精神病床における入院後の時点における退院率は、神奈川県は全国と比較し、3~4ポイント高い水準にある。
- ・精神病床における退院後の時点における再入院率は、神奈川県は全国と比較し、ほぼ同水準にある。

4 在院日数・退院率

(3) 退院率（入院後1年時）の都道府県比較（平成29年）



状況

・本県の退院率は、全国平均（88%）を上回り、91%と比較的高い水準にある。

4 在院日数・退院率

項目	患者の状況
平均在院日数	神奈川県及び全国ともに減少傾向
	平成29年でみると、 神奈川県は全国と比較し40.2日短い (全国の平成29年と神奈川の平成17年がほぼ同数値)
退院率	精神病床における 入院後の時点における退院率は、神奈川県は全国と比較し、3~4ポイント高い水準 にある
	本県の退院率は、全国平均（88%）を上回り、 91%と比較的高い水準 にある
再入院率	精神病床における退院後の時点における 再入院率は、神奈川県は全国と比較し、ほぼ同水準 にある。